

KIRIN



よろこびが
つなぐ世界へ

Joy brings us together

キリングループの成長戦略

2019年9月12日

キリンホールディングス株式会社

1. キリングループの概要
2. 酒類・飲料事業の取り組み
3. 医と食をつなぐ事業
4. 2019年第2四半期決算と通期計画
5. 配当と株主様向けご優待品について



1. ケリソググループの概要

会社概要

| | |
|----------|-----------------------------|
| 商号 | キリンホールディングス株式会社 |
| 設立年月日 | 1907年(明治40年)2月23日 |
| 資本金 | 1,020億円 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 本社所在地 | 東京都中野区中野4-10-2 |
| 従業員数(連結) | 30,464人 |
| グループ会社数 | 連結子会社:171社 持分法適用関連会社:29社 |
| 時価総額 | 1兆8,906億900万円 |
| 証券コード | 2503 |

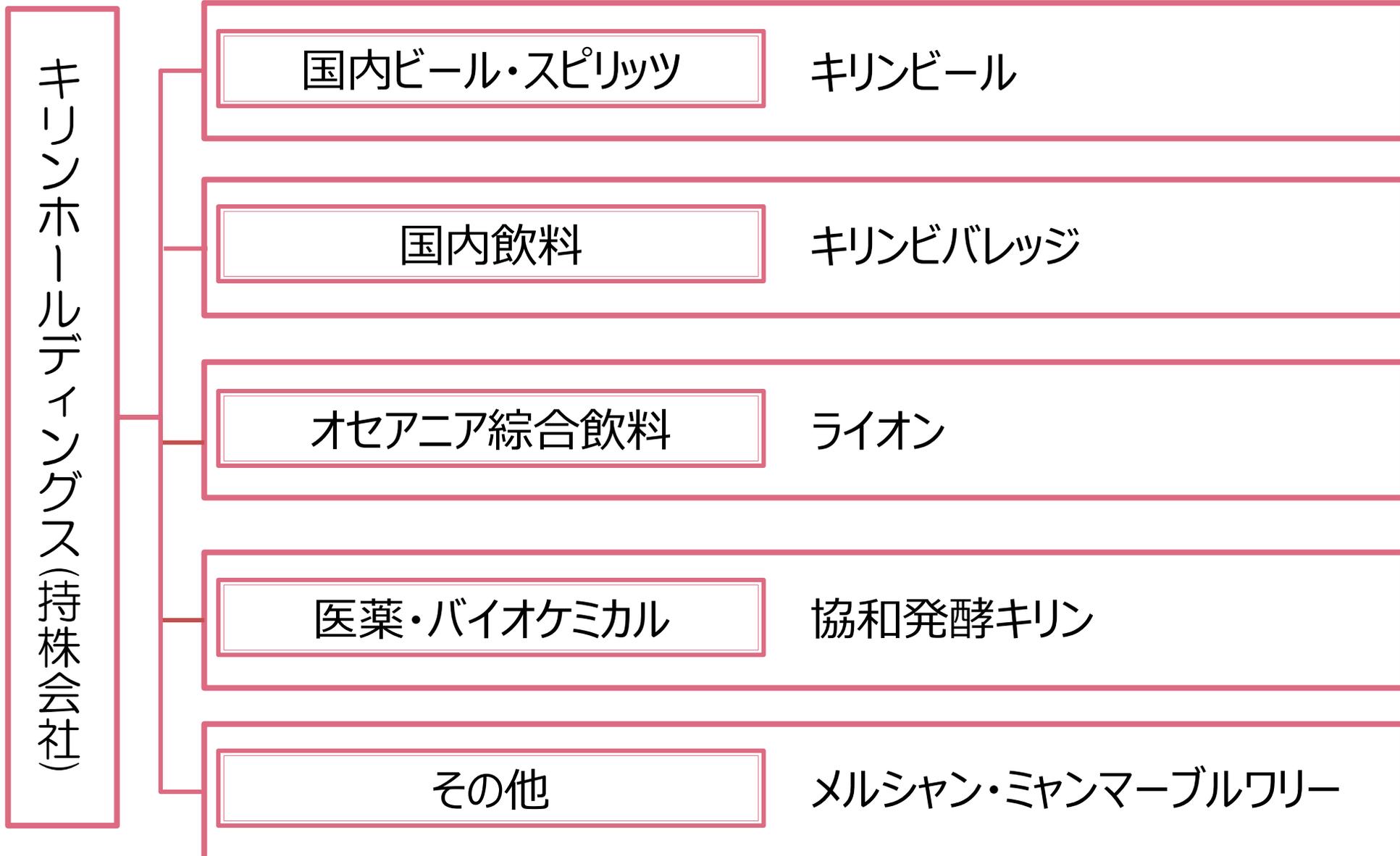


代表取締役社長
いそざき よしのり
磯崎 功典

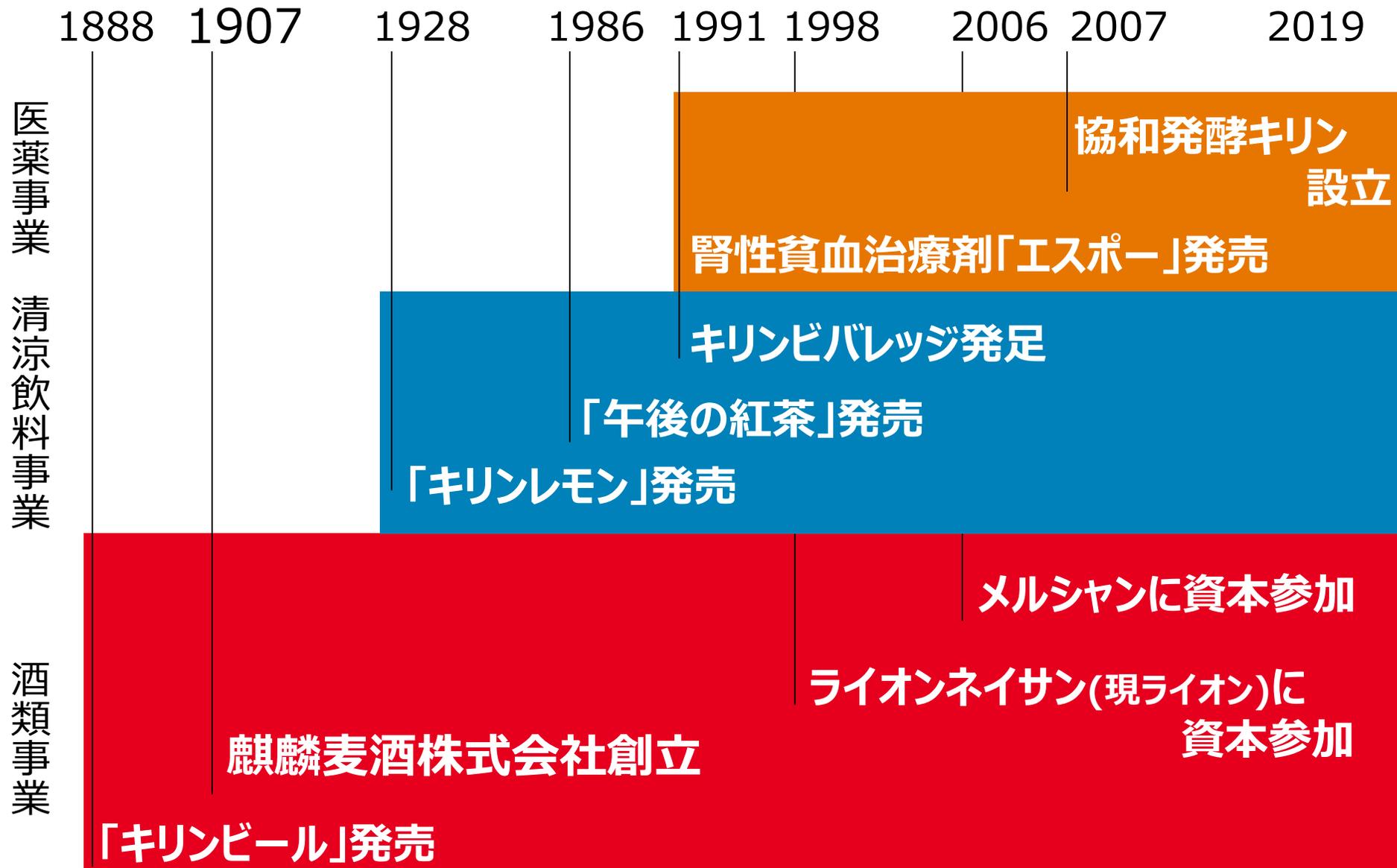
※従業員数・グループ会社数は2018年12月31日現在

※時価総額は、2019年9月3日付終値(2,068.5円)に基づき算出

グループ構成



事業領域の拡大



「食」領域の海外展開

2015年～

ビール類
シェア 約80%

ミャンマー



1907年～

日本

KIRIN
Mercian

ビール類
シェア 約34%
※



1998年～

ビール類
シェア 約40%

オセアニア



LION



2002年～

ビール類
シェア 約90%

フィリピン
サンミゲル・
ビール



売上収益・事業利益の構成（2018年実績）

売上収益
1兆9,305億円
(外側)



国内ビール・スピリッツ

国内飲料

オセアニア総合飲料

医薬・バイオケミカル

その他

経営理念：ミッション

キリングroupは、
自然と人を見つめるものづくりで、
「食と健康」の新たなよろこびを広げ、
こころ豊かな社会の実現に貢献します

コーポレートスローガン

よろこびがつなく世界へ
 **KIRIN**

2027年の目指す姿：ビジョン

『食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業になる』

キリングループのあゆみ

キリングループは創業以来、事業を通じて社会課題に向き合ってきました

**1885 前身のジャパン・ブル
ワリー・カンパニー創立**

「道徳経済合一説」

提唱者の
渋沢栄一が
参画



**1970年代中盤
環境美化活動**

業界に先駆けて空
き缶・空き瓶対策
などに着手

1999 ラガースペシャルライト

2002 淡麗グリーンラベル

世界に先駆け糖質オフを創造

2003 淡麗アルファ

世界初のプリン体カット技術



2009 キリンフリー

飲酒運転をなくしたいと
いう思いから生まれた、
世界初のアルコール
0.00%ノンアルコール飲料



1907

KIRIN

2017

1969 キリンレモン大ヒット

チクロ禁止を機に、1928年
発売以来の人工甘味料不
使用が評価され、売上が大
幅増

**1982 医薬事業本
格始動**

ビール醸造で培った発
酵技術を応用し、先
進バイオ技術による
創薬をリード

1998 再資源化100%達成

1998年1月にビール業界で初
めて全国15のビール工場で副産
物・廃棄物の再資源化
100%(廃棄物ゼロ)を達成した。

2017 タップマルシェ

コンパクトなクラフト
タップビールサーバー。
独立クラフトメーカー
にも開放。



お客様本位

品質本位

イノベーションの追求

キリンビール創業以来の経営哲学

持続的な成長

社会的価値

経済的価値

CSVパーパスの実現

キャッシュ・フローの最大化

社会課題の解決

長期非財務目標 CSVパーパス

よろこびがつなぐ世界へ



健康

健康な人を増やし、
疾病に至る人を減らし、
治療に関わる人に
貢献する。



地域社会・コミュニティ

お客様が家族や仲間と
過ごす機会を増やすとともに、
サプライチェーンに関わる
コミュニティを発展させる。



環境

2050年までに、
資源循環100%社会の
実現を目指す。



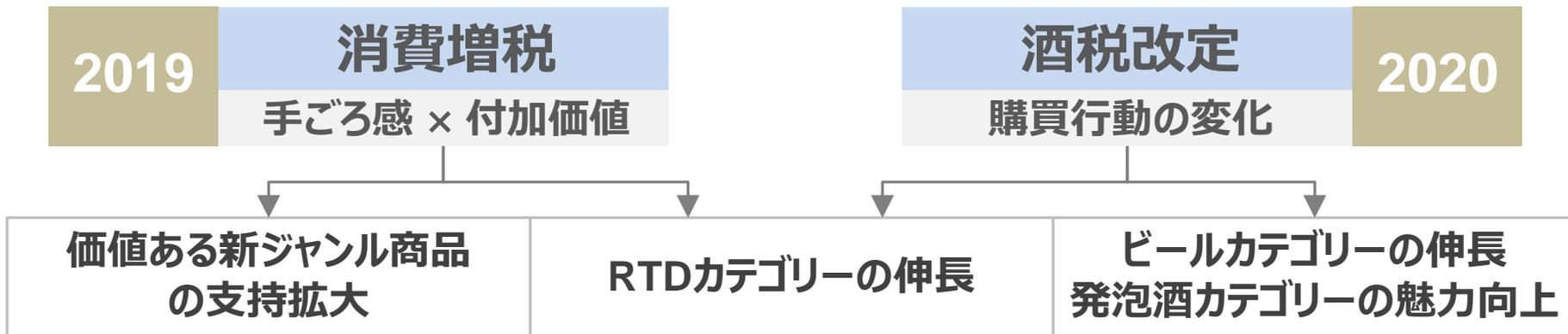
酒類メーカーとしての責任

全ての事業展開国で、アルコールの有害摂取の根絶に向けた取り組みを着実に進展させる。
(Zero Harmful Drinking)



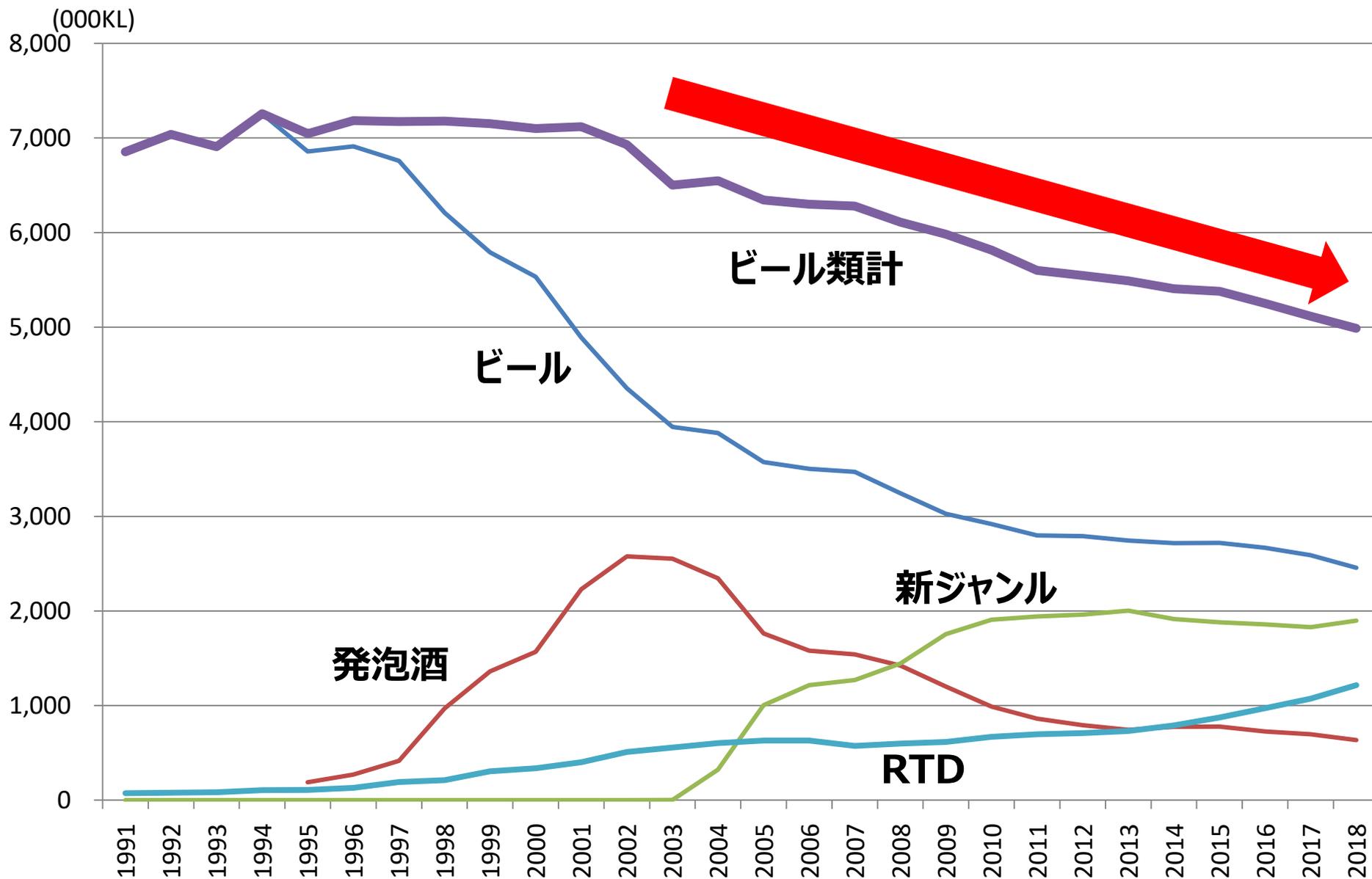
2. 酒類・飲料事業の取り組み

環境変化を見据えた商品ポートフォリオで収益拡大を目指す



主カブランドへの集中投資を継続、新商品に頼らない
既存商品ポートフォリオでの価値最大化

日本のビール市場



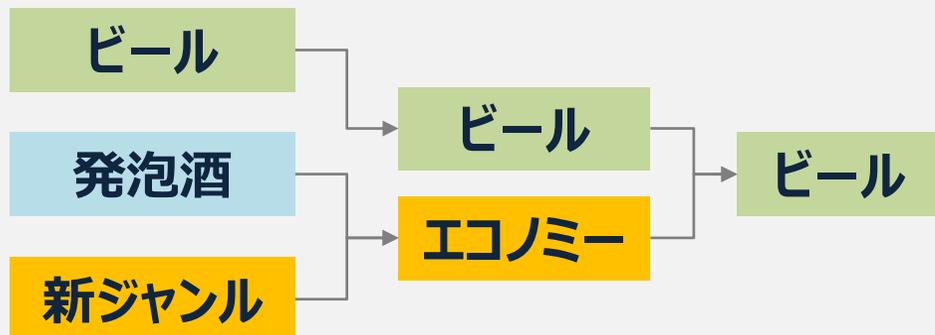
酒税の改定と麒麟ビールの長期・中期戦略

2019年～

2026年～

酒税による分類

2019年 → 2026年



想定される分類



イメージ図

長期戦略

- ・ スタンダードビール、クラフトビールによるミックス改善
- ・ 各カテゴリーに強いブランドを保有

中期戦略

- ・ ビール構成比増に対して一番搾り、クラフトビールに投資
- ・ 強まる低価格志向に対して本麒麟を強化

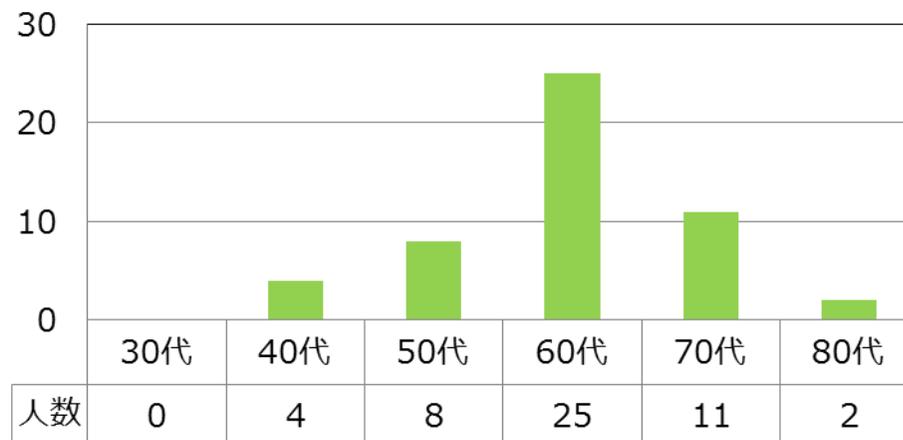
■ ホップ生産者と生産量の減少

秋田県横手市におけるホップ生産者数と生産量

| | ピーク時 (1989年) | 2016年 |
|------|-----------------|-------|
| 生産者数 | 133戸 | 50戸 |
| 生産量 | 142 t | 47 t |

■ 生産者の高齢化

横手市ホップ生産者の年齢構成(2016年)



横手ホップ生産者数・生産量：ピーク時の**約3分の1**
ホップ生産者年齢構成比：**60歳以上が76%**を占める。

このままの状態が続けば、更なるスピードで生産量が減り、**地域の資源である「ホップ」が地域から消えてしまう危機に陥っている。**

キリンビールの取り組み

- 生産地域の活性化に向けた取り組みの実践
- 良質な国産ホップの安定調達と、国産ホップならではの特徴あるビールづくりによって、ビール市場の魅力化と活性化を図る

①ホップ農家に対する積極的な支援



②国産ホップの価値化・ブランド化の推進



■ 2011年東日本大震災における被災 (キリンビール仙台工場)

ブライトビアタンク
(ビール貯蔵タンク) が4基倒壊。



屋上に近隣の方も含め
500名が避難



■ 懸命の復旧作業 (キリンビール仙台工場)

- ・社員が100日間をかけて清掃
- ・9月の仕込み再開を目指した



■ 2011年11月2日 出荷再開



生活と密接に関わる環境問題

地球温暖化の影響と思われる豪雨や猛暑などの異常気象により、世界中で多くの被害が出ています。



【異常気象】
例)西日本豪雨



【原材料調達困難】

地球温暖化や人口増、水不足などにより、農産物などの調達も困難に。事業にも影響が出てしまいます。

2050年には、海洋中のプラスチックの量が魚を超えるとの予想も。



【海洋プラスチック問題】

キリングループの酒類・飲料事業



どれ一つ欠けても成り立たない！

キリングroup長期環境ビジョン

豊かな地球のめぐみを将来にわたって享受し引き継ぎたいという想いを、
バリューチェーンに係わるすべての人々と共につないでいきます。

水資源

2050年までに、それぞれの地域で
享受できる水資源を永続的に使用で
きるようにします。



容器包装

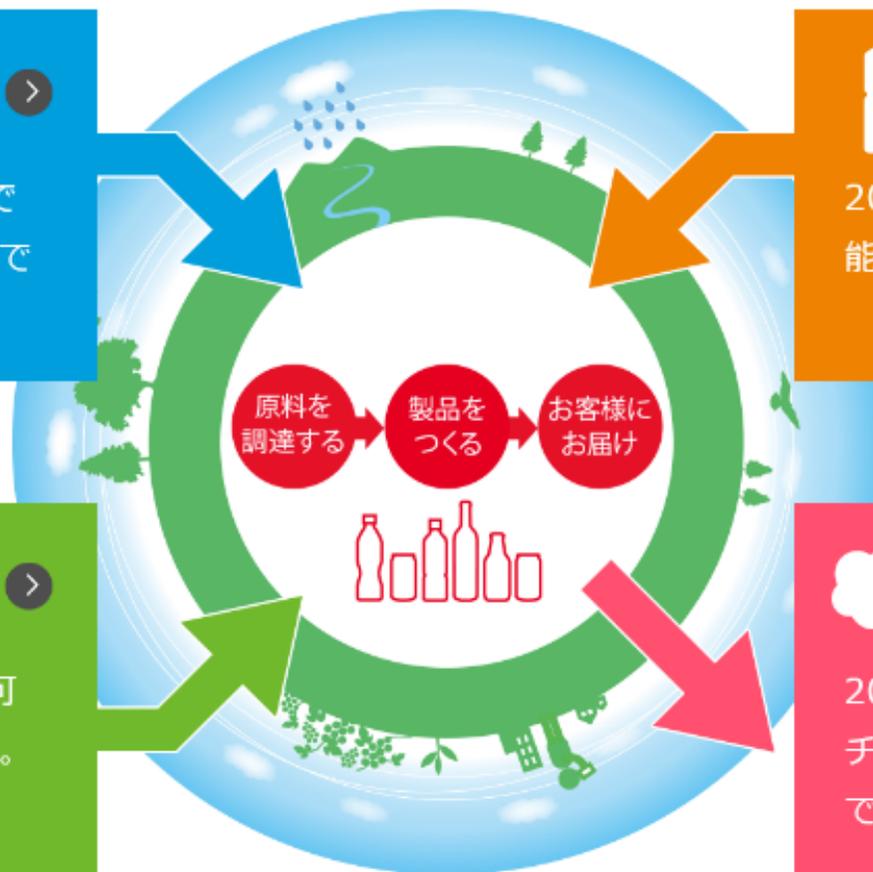
2050年までに、容器包装を持続可
能な形で使用できるようにします。

生物資源

2050年までに、生物資源を持続可
能な形で使用できるようにします。

地球温暖化

2050年までに、事業のバリュー
チェーンのCO₂排出量を1990年比
で半減します。



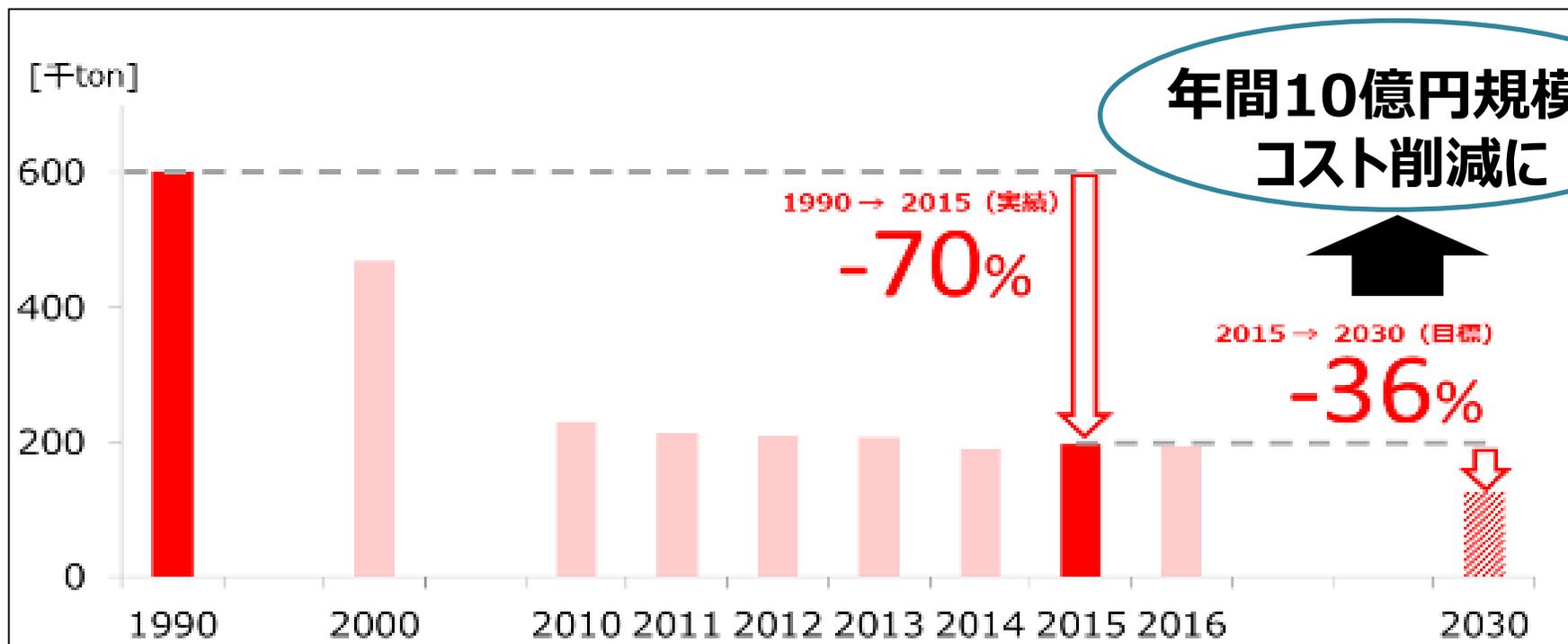
環境問題に対する取り組み

キリンビールでは、グループ目標よりもさらに高いGHG削減目標を設定し、GHG排出量削減に向けた取り組みを開始

キリングループGHG削減目標 : 2030年までに2015年比で-30%

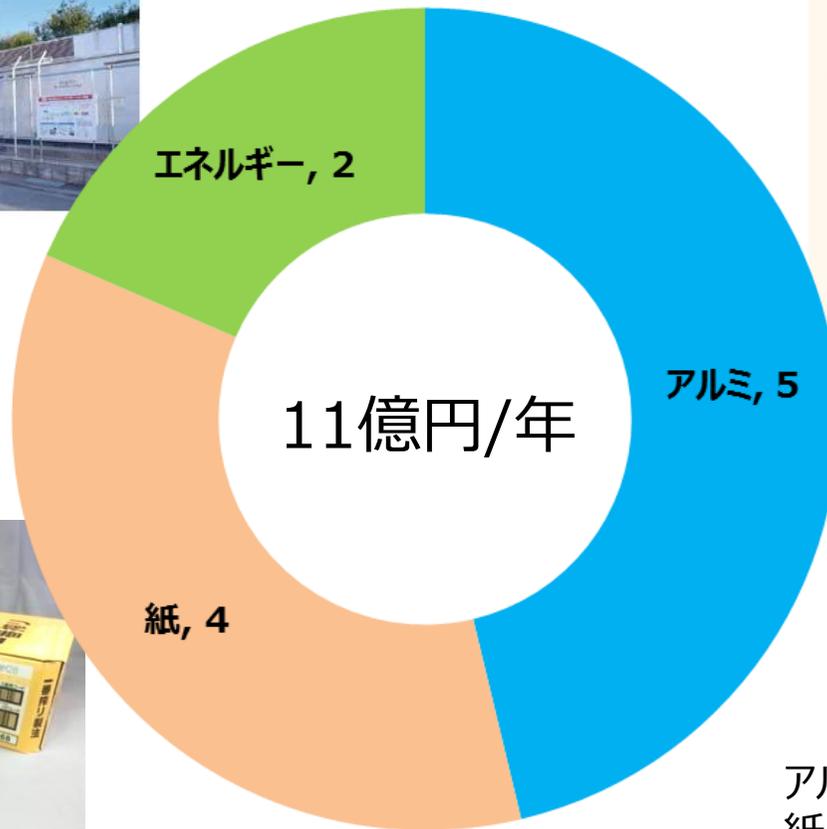
キリンビールGHG削減目標 : 2030年までに2015年比で**-36%**

キリンビールの生産活動に伴う温室効果ガス排出量の推移



キリンビールにおける環境対策に伴うコスト削減額（実績）

（億円/年）



アルミ：2010年比較2017年値
紙：2014年比較2017年値
エネルギー：2012年比較2018年値

キリンビバレッジにおける取り組み

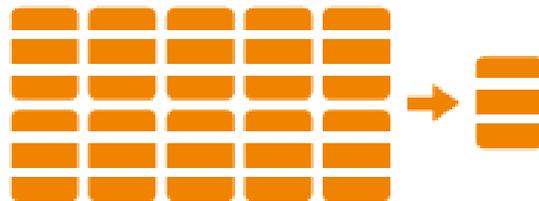
プラスチック資源循環社会を目指し、
再生樹脂100%のPETボトル商品を展開
(新キリン生茶デカフェ、キリン午後の紅茶おいしい無糖の一部)



ペットボトルがペットボトルに
生まれ変わることで

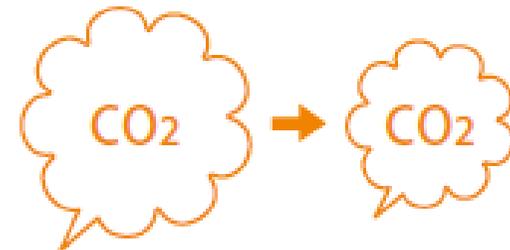
製造時の石油使用量

-90%



製造時のCO₂排出量

-60%



3. 医と食をつなぐ事業

広く認知されるアルコールに関する社会課題

社会問題

飲酒運転

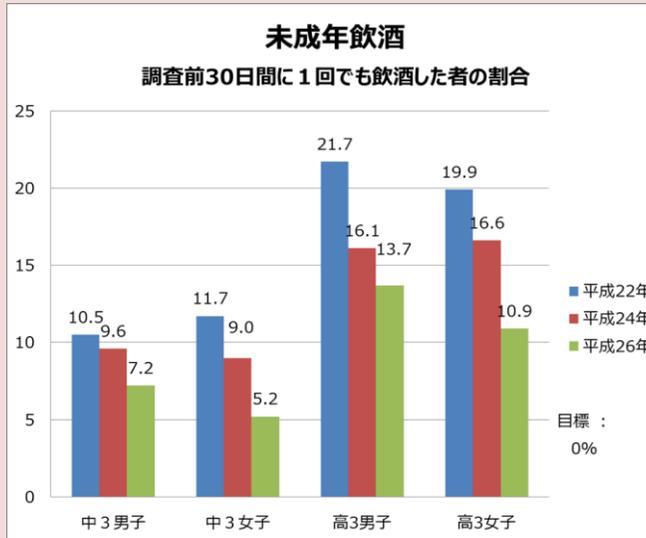


飲酒による暴力

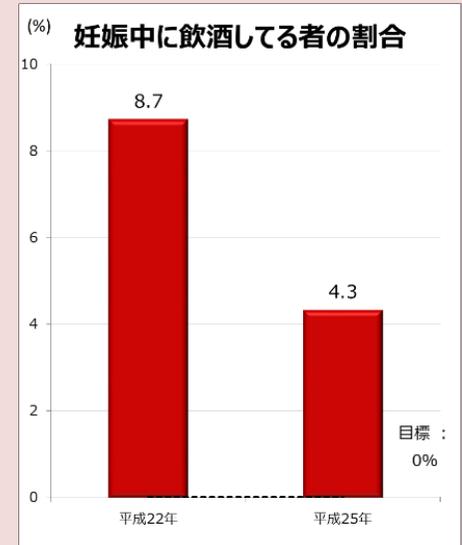
健康問題

社会環境の改善

未成年飲酒



妊産婦飲酒



生活習慣の改善

多量飲酒を原因とする疾病

アルコール依存症

将来の 成長機会

既存事業で培った資産の活用と投資による
「医と食をつなぐ事業」の立ち上げ、育成

成長の 基盤

効率的な設備投資・事業投資と規律ある投資による
既存事業の利益成長
食領域：収益力の更なる強化 医領域：飛躍的成長の実現

成長の 原動力

無形資産投資（ブランド、研究開発、情報化、人材・組織）による
イノベーションを実現する組織能力の強化

キリンだからこそ出来る新規事業を将来の成長に

食領域と医領域の間にキリン独自の
「医と食をつなぐ事業」を立ち上げ、育成



医と食をつなぐ事業を立ち上げ、育成

協和発酵バイオを「医と食をつなぐ事業」の中核に据え、
グループ保有資源の最大活用により成長を目指す



KYOWA KIRIN

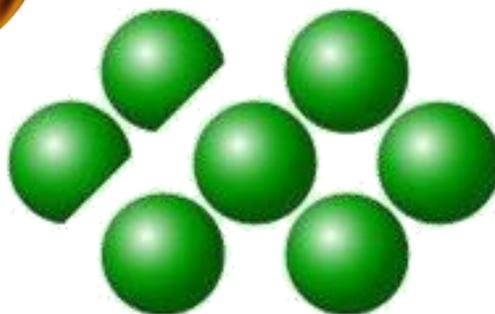
KIRIN



THORNE



KW乳酸菌



KYOWA

プラントリサーチセンター



今後複数の新規事業を立ち上げ

持続的な成長を目指す

既存事業によるグループ利益拡大、
将来の成長ドライバー創出を同時に実現する

「医と食をつなぐ事業」

将来におけるグループの
新たな成長の柱

医薬

中期的成長ドライバー

酒類・飲料

グループの持続的成長
を支える更に盤石な
事業基盤

最も成長率
が高い事業へ

構造改革
による再生

2015年

2018年

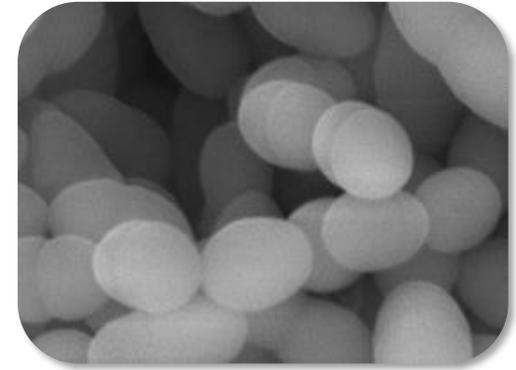
2021年

2027年

2016年中計

2019年中計

- ◆ キリン、小岩井乳業、協和発酵バイオが
2010年～共同研究を行っている乳酸菌
(理化学研究所が保有する*Lactococcus lactis* JCM 5805)



- ◆ プラズマサイトイド樹状細胞から命名
プラズマサイトイド樹状細胞は、日々の
健康管理に非常に重要

3社共同研究

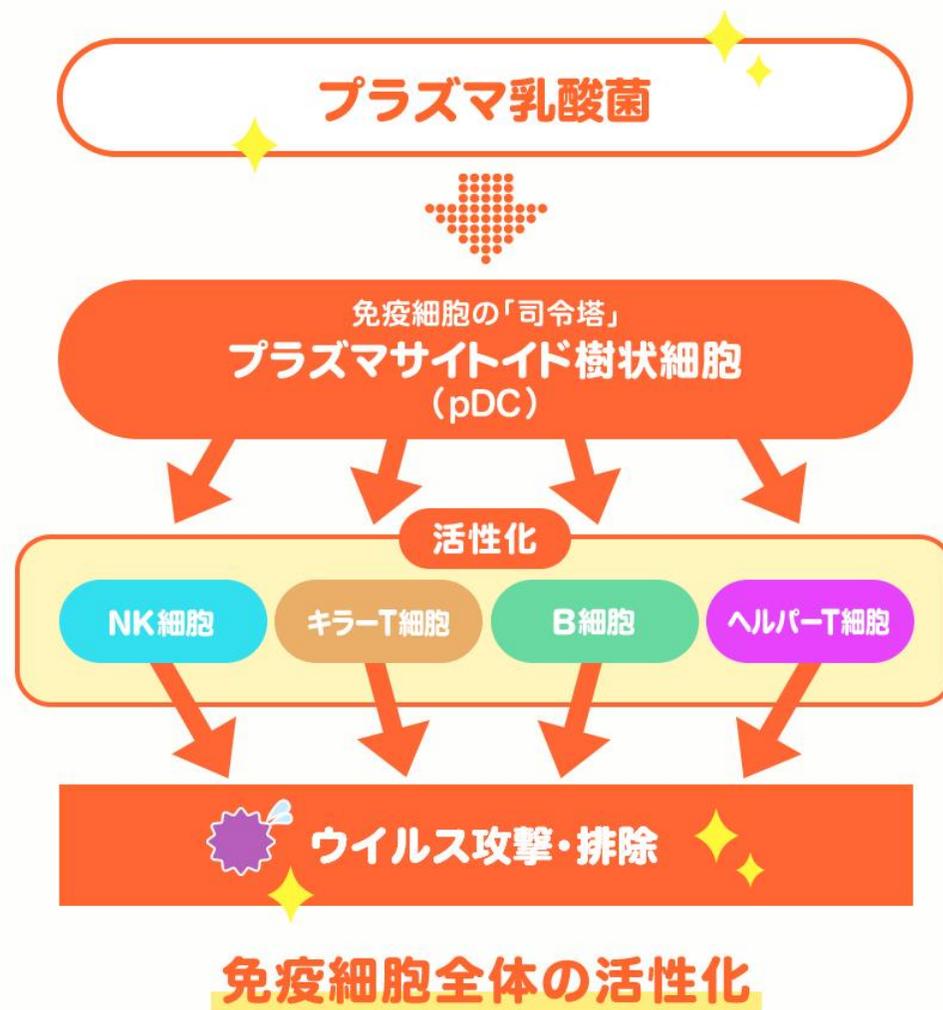
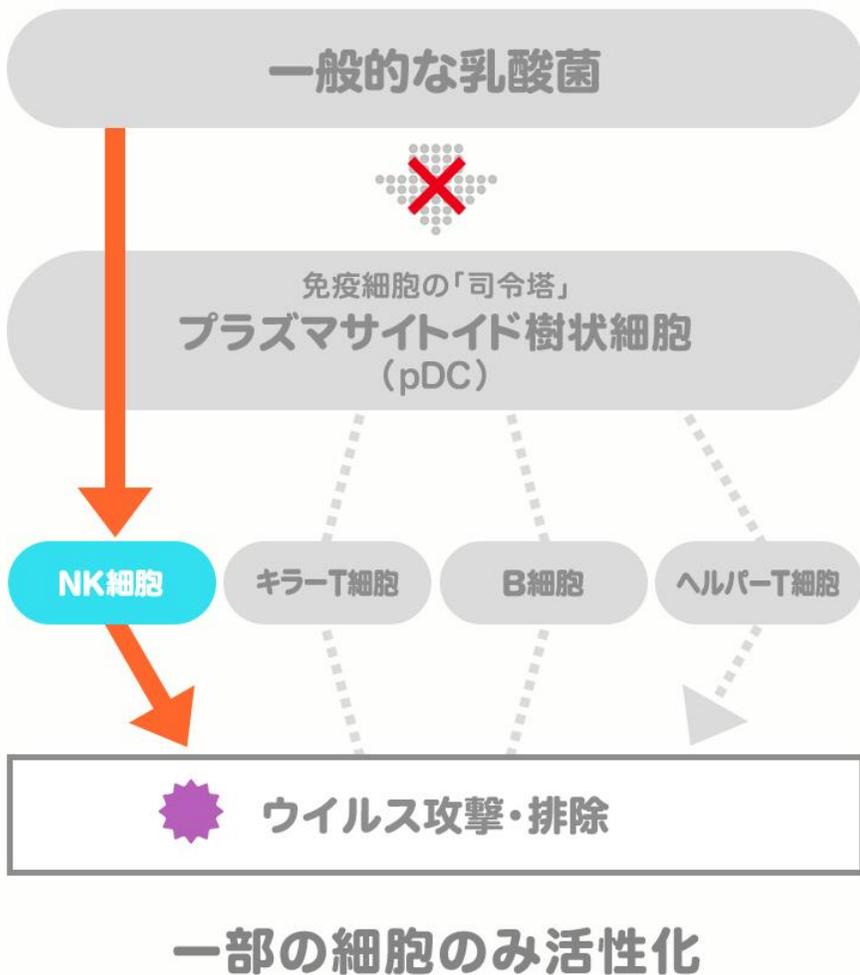


小岩井乳業株式会社



- ◆ 2012年～ヨーグルト、飲料などの商品を展開

一部だけではなく免疫細胞全体を活性化することができる唯一の乳酸菌

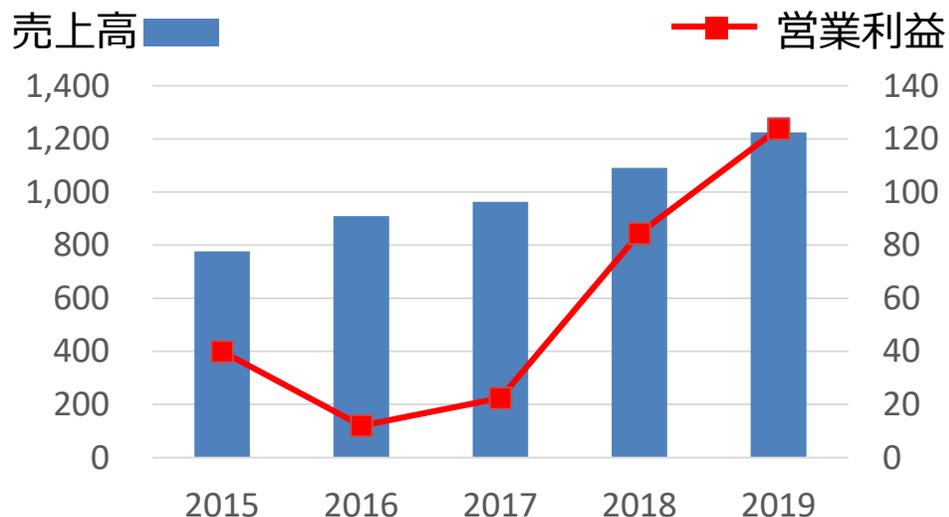


ファンケル社との資本業務提携を発表

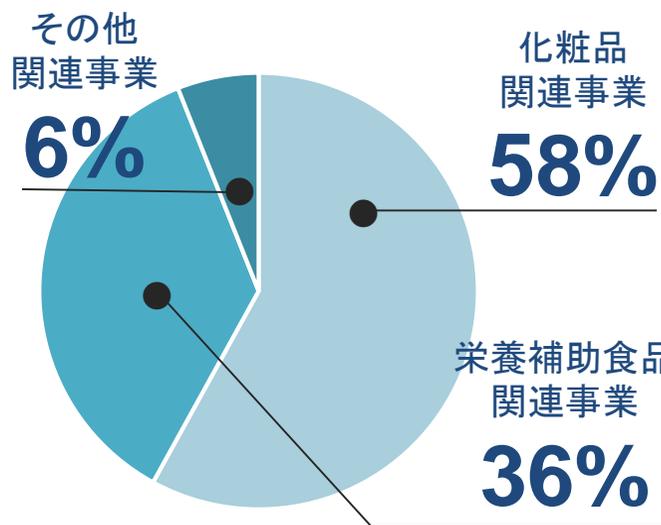
ファンケル社の株式33.0%を1,293億円で取得

| | | |
|-------|-----------------------|----------------|
| 社名 | 株式会社ファンケル（証券コード:4921） | |
| 設立年月日 | 1981年8月18日 | |
| 時価総額 | 3,303億円 | （2019年7月31日時点） |
| 売上高 | 1,224億円 | （2019年3月期） |
| 営業利益 | 123億円 | （2019年3月期） |

売上・営業利益推移(億円)



事業別売上高



方向性の一致する両社による提携

目指す方向性は一致、事業領域・強みは補完的關係へ



目指す方向性

- 「健康」
 - クオリティ・オブ・ライフの向上
 - 疾病の予防



- 美しく健康で豊かな生活を支える
- 健康寿命の延伸

事業領域

- 「食領域」「医領域」
- 「医と食をつなぐ事業」



- 「美」と「健康」

強み

- ブランド（午後の紅茶、生茶など）
- R&D（発酵・培養・飲料製造）
- 素材（アミノ酸・免疫・脳機能など）
- チャンネル（自動販売機）



- ブランド（ファンケル、アテニアなど）
- R&D（無添加技術、製剤・加工技術）
- 素材活用（生活習慣対策サプリメント）
- チャンネル（店舗・ECでの直販）

社会課題の解決を通じて持続的な成長を目指す

4. 2019年第2四半期決算と通期計画

2019年第2四半期決算

為替影響を受けながらも増収増益

| (億円) | 2019年 2Q実績 | 2018年 2Q実績 | 対前年増減 | |
|-----------------------|------------|------------|--------|--------|
| 売上収益 | 9,298 | 9,182 | 116 | 1.3% |
| 事業利益 | 908 | 865 | 44 | 5.0% |
| 税引前四半期利益 | 227 | 1,316 | -1,089 | -82.8% |
| 親会社の所有者に帰属する 四半期利益 | -73 | 865 | -938 | - |

■ 定量目標

| | 2019年 2Q実績 | 2018年 2Q実績 | 対前年増減 | |
|------------|------------|------------|-------|---|
| 平準化EPS (円) | 71 | 71 | - | - |

■ 財務指標

| | 2019年 2Q実績 | 2018年 2Q実績 | 対前年増減 | |
|---------|------------|------------|---------|---|
| EPS (円) | -8.33 | 95.22 | -103.55 | - |

2019年第2四半期業績：キリンビール

2019年第二四半期業績：販売数量増により増益

2019年
新商品に頼らない戦略

ビール類市場 -1% (推定)
キリンビール
+1.9%

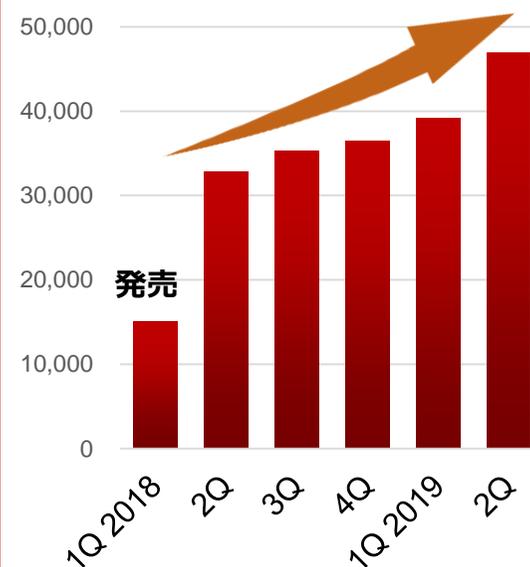


ビールカテゴリー
市場
-4% (推定)

一番搾り (缶)
上半期販売数量
+0.6%



(KL) 四半期毎の販売数量



2019年第2四半期業績：キリンビバレッジ

新商品が好調。無糖領域、小型PETへの注力を継続

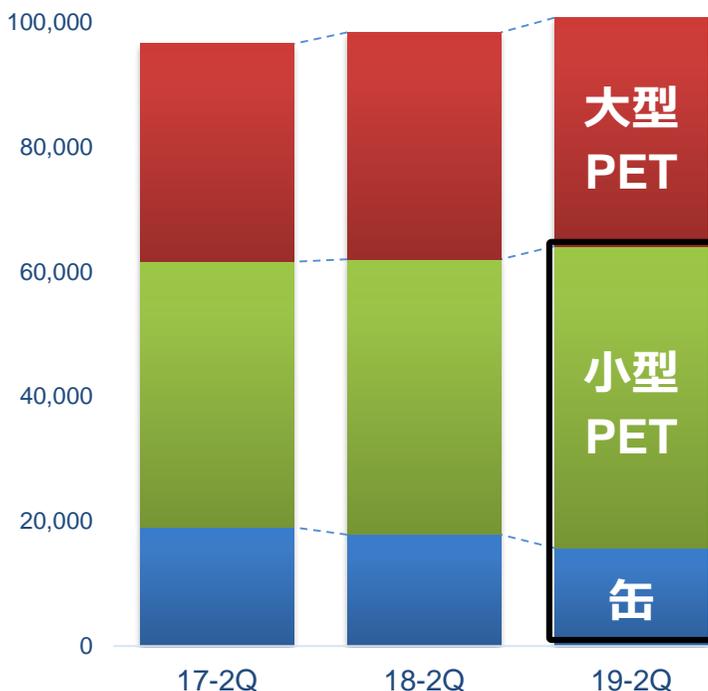
2019年
基盤ブランド

×

無糖・低糖領域

上半期は対前年
増収増益

(事業利益率 8.2%)



【成果】

- 価格改定の実施

【成果】

- 小型PETの数量拡大
- ONEDAY BLACK / マイスターズ・ミルク好調

【課題】

- 缶容器構成比の低下

利益は先行投資や減損により減益も増収計画達成を目指す

■ 通期業績予想

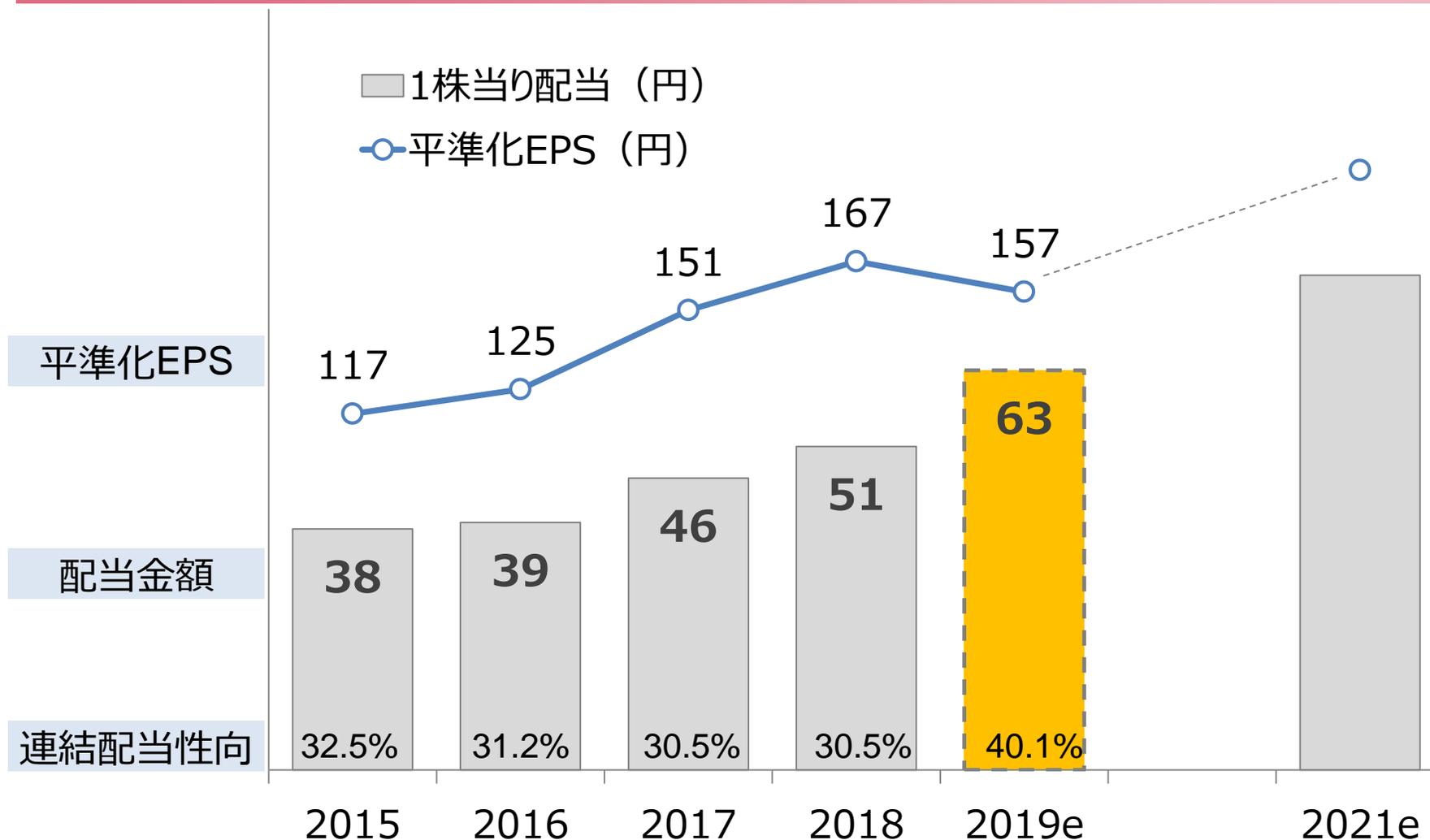
| (億円) | 2019年計画 | 2018年実績 | 対前年増減 | |
|----------------------|---------|---------|--------|--------|
| 売上収益 | 19,640 | 19,305 | 335 | 1.7% |
| 事業利益 | 1,900 | 1,993 | -93 | -4.7% |
| 親会社の所有者に帰属する 当期利益 | 560 | 1,642 | -1,082 | -65.9% |

■ 定量目標

| | 2019年計画 | 2018年実績 | 対前年増減 | |
|------------|---------|---------|-------|-------|
| ROIC | 5.1% | 11.9% | - | - |
| 平準化EPS (円) | 157 | 167 | -10 | -6.0% |

5. 配当と株主様向けご優待品について

連結配当性向を平準化EPSの40%以上に引上げ。+12円増配を計画



株主様向けご優待品

1,000株以上の株主様(3,000円相当)



ビールセット 合計12本



ワインセット



ソフトドリンク詰合せセット



キリンシティお食事券



オリジナルTシャツ&タオルマフラー



100株以上の株主様(1,000円相当)



ビールセット 合計4本



オリジナルタオルマフラー



ソフトドリンク詰合せセット



キリンシティお食事券

共通

キリン飲酒運転根絶募金

1,000株以上の株主様からは3,000円、
100株以上の株主様からは1,000円を
お預かりし、
公益財団法人交通遺児等育成基金へ寄付

※2018年12月末株主様にご用意したご優待品。

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.



よろこびがつなぐ世界へ

Joy brings us together